

## 令和4年度子ども・子育て支援推進調査研究事業

### <調査研究報告書タイトル>

ヤングケアラーの支援に係るアセスメントシートの在り方に関する調査研究

### <実施主体名>

有限責任監査法人トーマツ

本事業は、支援が必要なヤングケアラーの早期発見・介入につなげるためのアセスメントシートの在り方を検討することでヤングケアラーへの支援の充実を図ることを目的として実施した。

本事業においては、①検討委員会の設置・開催、②作業部会の設置・開催、③先行調査・先行研究の整理（文献調査）、④アセスメントシート等ツールに関するヒアリング調査、⑤パイロット版・アセスメントツールの作成、⑥デルファイ調査（アンケート調査）、⑦成果物のとりまとめ、といった7つの活動を行った。

アセスメントシートに関するヒアリング調査では、アセスメントシートに含めるべき項目やアセスメントの実態、課題、ニーズを把握してアセスメントシートの内容を検討するために、分野A：児童福祉分野（自治体の担当部門）、分野B：高齢者福祉分野（自治体の担当部門等）、分野C：障害福祉分野（自治体の担当部門等）、分野D：教育分野（教育委員会等）、分野E：医療分野（医療ソーシャルワーカー）、分野F：生活保護・生活困窮者自立支援分野（自治体の担当部門）、分野G：A～F分野のコーディネーター（ヤングケアラー支援専門チーム等）、分野H：当事者（当事者団体）の8分野を対象に、ヒアリング調査を実施した。

上記ヒアリング調査結果を踏まえて、こども本人との接点から、ヤングケアラー支援が必要となる可能性を確認するための「ヤングケアラー気づきツール（こども向け）」、家族（ケアの受け手）への支援の中で、ヤングケアラー支援が必要となる可能性を確認するための「ヤングケアラー気づきツール（大人向け）」、こども本人の行うケアの現状やケアの影響、支援ニーズを把握し、必要な支援や支援へのつなぎ方を検討するための「ヤングケアラーアセスメントツール」として、パイロット版のツール3種類を作成した。

その後、これらのツールが実際の支援に役立つものになるよう、支援の現場や当事者の確認や意見を踏まえて内容を更に精査するために、ヒアリング調査実施先等に協力を依頼し、デルファイ調査（アンケート調査）を実施した。そして、デルファイ調査（アンケート調査）結果を踏まえ、本事業の成果物を完成させた。